



【自己覚知と自己啓発】

私たちは、自分を理解し啓発することによって、困難に立ち向かい、福祉の仕事にまい進します。

【受容】

私たちは、利用者一人ひとりがあるがままに理解し、必要な支援をきめ細かく実施します。

【人間の理解】

私たちは、利用者のより深い理解のために、目に見える行動だけではなく、人間の内面に目を向けます。

【安定した関わり】

私たちは、職員の存在が利用者にとって大きな影響を与える可能性があることを自覚し、安心・安全・満足をもたらすかわりを実践します。

利用者が混乱した言動をとるときに、最もその実践が必要なことを認識します。

【共にある関係】

私たちは、利用者の能力向上のみに意識をとらわれず、利用者と行動を共にすることにより、お互いを分かり合える関係を作ることに主眼をおきます。